



# 国外友好都市 締結調印式



新菊池市が誕生し、これまで交流を続けてきた、韓国・金堤市と中国・泗水県との国外友好都市の調印式を改めて執り行いました。

友好都市の調印は、平成18年4月の岩手県遠野市と宮崎県西米良村に続くものです。また、平成19年2月には、韓国・清原郡と調印予定です。

この際の11月15日(水)に菊池市役所で、新菊池市として改めて

中国泗水県とは、旧泗水町が昭和61年(1986年)の町名由来の調査団を泗水県に派遣したことに端を発し交流を深めてきました。平成元年(1989年)、泗水誕生100周年を記念するとともに、まちなりの核として、また交流のシンボルとして「孔子公園」建設を計画し、平成4年(1992年)に完成しました。孔子公園は中国宮廷建築様式を採用し、中国の資材と中国人技術者で建設をおこない、特に孔子像は、高さ3mの石像で、中国泗水県人民政府に依頼し、製作したものです。

## 締結の経緯

菊池市泗水町に全羅北道全州市の大学で学んだ人がおり、その人の斡旋により、1982年に大韓民国を訪問し、全羅北道金堤市(当時は金堤邑)の産業形態が類似していることから旧泗水町が昭和60年(1985年)4月、町村合併30周年を記念し、相互交流を図るため姉妹都市を締結しました。これを契機に、行政関係、教育関係、文化協会等の諸団体を派遣することも、平成4年(1992年)には泗水中学校の修学旅行を行っています。金堤市からは毎年9月に開催しているコスモスマラン大会に選手を招待しています。平成16年度には、泗水中学校サッカー部員が金堤市を訪問し、スポーツ交流をしました。また、合併後も韓国で有名な祭り「金堤市地平線祭り」へ菊池市民文化交流団として参加し平成17年度は日舞、平成18年度は神楽を披露し、文化芸能を通じた交流を広げています。そして、今年10月28日(土)〜10月31日(火)まで李建植(イ・ゴンシク)金堤市長を始め10人の交流団が菊池市を訪問し、コスモスマラン大会に選手として李市長ほか8人が参加しました。

## 締結の経緯

●中華人民共和国山東省泗水県(サントウショウスイケン)  
○友好都市締結日  
2006年(平成18年)11月15日(水)  
○泗水県の概要 山東省泗水県は中国国土の北東部に位置し、人口約60万人、面積1,091km<sup>2</sup>で、県内には大小あわせて560余りの川があり南と北にはそれぞれ2大山脈が走っています。主な産業は農業で、小麦、とうもろこしなどが生産されており、地下資源も豊富で花崗岩、石灰岩などが埋蔵されています。最近では海外からの投資により工業も盛んになりつつある都市です。

今後は、青少年のスポーツ交流、市民交流を拡大していきたいながら、それぞれの地域資源を活用し、お互いに連携・協力して、活力のあるまちづくりの推進に努めることを約束しました。



協定書に署名をする王副県長(左)と福村市長(右)



協定書に署名をする李市長(左)と福村市長(右)

●大韓民国全羅北道金堤市(ゼンラホクドウキムゼシ)  
○友好都市締結日  
2006年(平成18年)10月30日(月)  
○金堤市の概要 金堤市はソウルから車で約3時間半の所に位置し、人口は約12万人、面積は545.29km<sup>2</sup>と、人口、面積ともに菊池市の約2倍の大きさです。主な産業は農業で、見渡す限りの水田では、米や野菜が栽培されており、また、高麗人参の栽培が盛んな文化と食に優れた田園観光都市です。

10月30日(月)には市内のホテルで、新菊池市として改めて金堤市と友好都市調印締結を執り行いました。両市長とも、今後も教育、文化、スポーツの交流の幅を広め信頼と友好を深めていくことを約束しました。



協定後に手を取り合う5人  
左から、孫製薬会社社長、藤糧食局長、王副県長、福村市長、北田議長



協定後に手を取り合う4人  
左から、安議長、福村市長、李市長、北田議長